

## 消費者を守るための制度

### めあて

契約をやめられる場合があることを  
理解しよう

## 消費者を守るための制度

# 目次

### ◎ 消費者を守るための制度

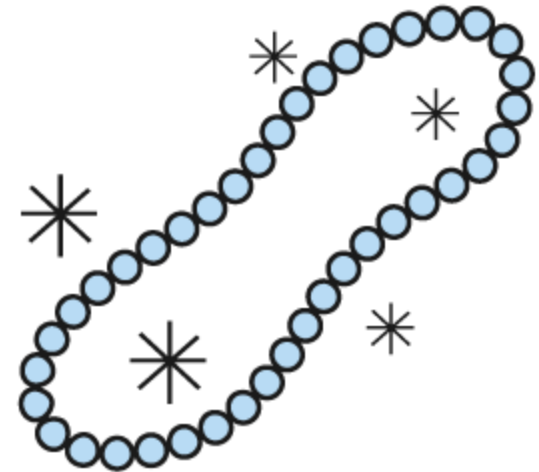
### ◎ 未成年者の契約

## 消費者を守るための制度

次の2つの事例を読み、考えてみよう

事例Ⅰ

昨日、お店でアクセサリーを買ったが、他の店でもっと気に入ったものを見つけた。一度も身に付けていないので、返品したい。



## 消費者を守るための制度

次の2つの事例を読み、考えてみよう

### 事例2

昨日、「アクセサリーの展示会をしているから」、と路上で勧誘され、断り切れずに買ってしまった。本当は欲しくなかったのので、返品したい。



## 消費者を守るための制度

次の2つの事例を読み、考えてみよう

### 共通点

昨日買ったアクセサリーを  
返品したい。



## 消費者を守るための制度

次の2つの事例を読み、違いを考えてみよう

### 異なる点（例）

事例1 別の店のものが欲しくなった  
（自分の都合）

事例2 断り切れずに買わされた  
（お店の対応に問題がある）

## 消費者を守るための制度

## 2 消費者を守るための制度 クーリング・オフ

クーリング・オフ制度とは、  
強引な勧誘など、トラブルになりやすい  
取引の契約を取り消すことができる  
制度です。



## 消費者を守るための制度

# 2 消費者を守るための制度 クーリング・オフ

### 事例3

6日前、路上でB株式会社の阿久得さんに声をかけられ、学生でも楽にもうけられるという投資用教材セット「最強投資大百科」を30万円で購入させられたが、返品したい。



## 消費者を守るための制度

# 2 消費者を守るための制度 クーリング・オフ

【事例3】の契約を  
解除するための、  
クーリング・オフ通知の例

### 契約解除通知書

- 契約（申込） 2023年10月14日
- 販売会社名 B株式会社
- 担当者名 阿久得
- 商品名 投資用教材セット「最強投資大百科」
- 契約金額 300,000円

（契約者住所）徳島県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号

（契約者氏名）〇〇 〇〇

## 消費者を守るための制度

## 2 消費者を守るための制度 クーリング・オフ

次の事例のうち、クーリング・オフができる場合には○、できない場合には×を付けよう。

1	3日前にインターネットでスニーカーを購入したが、イメージと違ったので返品したい。	×
2	2週間前に、「友人に紹介していくともうかる」と言われ、健康食品を購入したが、返品したい。	○
3	5日前にSNSでお店に呼び出され、10万円の化粧品セットを購入したが、返品したい。	○

## 消費者を守るための制度

### 3 クーリング・オフできない 場合もあります！

どんな場合にも  
できるわけではないんだね



## 消費者を守るための制度

### 3 消費者を守るための制度 クーリング・オフ

次の取引のうち、クーリング・オフができる場合には○、できない場合には×を付けよう。

1	インターネットショッピングなどの通信販売	×
2	3,000円未満の商品を現金で購入	×
3	SNSでお店に呼び出され、買わされた商品やサービス	○

## 未成年者の契約

# 目次

◎ 消費者を守るための制度

◎ 未成年者の契約

## 未成年者の契約

### 4 未成年者の契約について考えてみよう

(1) 次の場合、契約の取消しはできますか？



私は14歳の中学生ですが、先日、保護者に内緒でダイエットサプリ商品を契約しました。よく考えてみた結果、契約を取り消したいのですが。

A.

## 未成年者の契約

### 4 未成年者の契約について考えてみよう

(1) 次の場合、契約の取消しはできますか？



私は14歳の中学生ですが、先日、保護者に内緒でダイエットサプリ商品を契約しました。よく考えてみた結果、契約を取り消したいのですが。

**A. 契約の取消しは できる**

未成年者の契約

4 未成年者の契約について考えよう

(2) 次の場合で、未成年者取消しできる場合には○、  
できない場合には×を記入しよう

1	お小遣いとしてもらっている金額で契約した場合	
2	親が同意して契約した場合	
3	契約の相手に対して、自分は成人だとだまして契約した場合	



## 未成年者の契約

## 4 未成年者の契約について考えよう

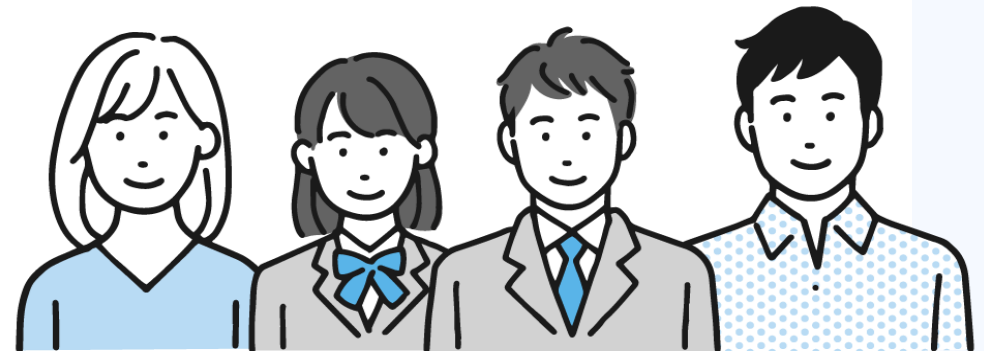
(2) 次の場合で、未成年者取消しできる場合には○、  
できない場合には×を記入しよう

1	お小遣いとしてもらっている金額で契約した場合	×
2	親が同意して契約した場合	×
3	契約の相手に対して、自分は成人だとだまして契約した場合	×

## 未成年者の契約

### 5 「未成年者取消権」とは？

- ・17歳以下の未成年者がひとりでした契約は、原則として取り消すことができます。
- ・有効な契約には、保護者の同意が必要です。



## 未成年者の契約

### 5 「未成年者取消権」とは？

ただし・・・**未成年者でも取り消せない契約がある！**

- おこづかいの範囲内の契約
- 相手に対して、次のようにだまして契約をした場合
  - ・18歳以上と偽った。・保護者から同意を得たと偽った。

契約する前に、よく考えるようにしよう！

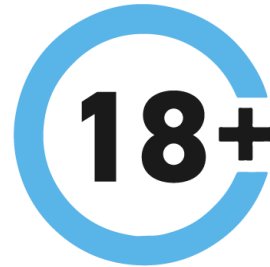


## 未成年者の契約

# 6 2022年4月から成年年齢が18歳に引き下げ！

### 18歳になったらできること

- 保護者の同意がなくても契約できる
    - ・スマートフォンの契約
    - ・ローンを組む
    - ・一人暮らしの部屋を借りる
    - ・クレジットカードをつくる
- など



### 20歳にならないとできないこと

- 飲酒・喫煙をする
- 競馬、競輪、オートレース、競艇の投票券（馬券など）を買う など



自分の意思でいろんな契約ができるようになるけど、  
未成年者と違って契約を簡単に取り消せなくなるから注意だね。

